

日時	記事タイトル	URL	内容(一部抜粋)	追記
2019年9月9日	すさまじい音、外見て「あぜん」 ゴルフ練習場の柱倒壊：朝日新聞デジタル	https://www.asahi.com/articles/ASW4992WLM499JTL007.html	「すぐ近くで雷が落ちたような音がした」 近くに住む男性（70）はすさまじい音を耳にした。明るくなって外を見て「あぜんとした」。自宅から1メートル先に鉄柱が倒れていたという。妻と自宅が就寝中に2階に鉄柱が倒れてきたという50代の男性は「天井が上から落ちてきて下敷きになった。顔から血が止まらず、怖かった」。	
2019年9月11日	鉄柱で家屋破壊のゴルフ場オーナー、謝罪と補償意向	https://www.nikkansports.com/general/nikkan/news/201909110900727.html?mode=all	出戻した住民によると、住民の意向を受ける形で開催され、オーナーは謝罪すると同時に、補償を行う意向を示した。住民からは当面の衣食住について、また、道路は車が通行できない状態になっており、移動手段についての質問などが出たという。住民は「オーナーは『アパートを借りたり、ホテルに住む場合、私が出します。後から領収書をください』と言われたが、例えば1年程度など長期間に及んだ場合、そのような多額な前払いはできない」と断を述べた。さらに「今後、オーナーは我々に何ができるのか、まずは文書にして、弁護士に伝えてほしいとお願ひした。これからどう話し合いがどう進むのか、まだ分からない」と不安をのぞかせた。	
2019年9月18日	住宅押しつぶした千葉・ゴルフ練習場 あきれた住民説明「天災だから 格別費用出しません」：J-CAST テレビウォッチ	https://www.j-cast.com/tv/2019/09/18367829.html	リポーターの岡部拓二がゴルフ練習場の社長を直撃した。しかし、「本日休業」と書かれた練習場のドア越しに答えた。 「近隣の住民の方からいろいろ話がありますか」という問いに、「電話でね、『早く撤去しろ』と」を答える。 岡部「撤去はするんですね」 社長「しますよ。ただ、業者がなかなか決まりません。決まっても、準備がまた大変なんです」 岡部「1軒1軒を回って話し合いはしていませんか」 社長「きのう、雨が降る予定だったから、シートを用意して誠意を見せたいけど、『業者からもらっているからいい』といわれました」 市原市は「（ゴルフ練習場）電話連絡などで問い合わせはしていますが、いまだに具体的な話はいたいていありません。撤去作業ができそうな業者の一覧を提供しています」 住民たちはゴルフ練習場側の弁護士から、電話で「これは天災ですので、費用は出ませんよ」といわれ、こちらも弁護士を立てますと話す、「負けますよ。お金が掛るだけです」といわれたという。	
2019年9月20日	市原のゴルフ練習場倒壊問題、女性 オーナーが補償について「私としては 努力しているんですけど、なかなか…」 スポーツ報知	https://hochi.news/articles/20190920-OHT1T50087.html?page=1	番組では、被災した住民がゴルフ練習場の女性オーナーと話し合う姿を取材。補償について聞いたと「すごい自然災害の時にはそういうのを出さないで聞きました」と弁護士から言われたことを明かし「その方針でいこうともそういう話してはいない。そういうのもあります」と説明した。 男性から「家の補償をする気はあるんですか」と問われると「できる限り」と明かし「私が言う」と誤解されるから」と話した。男性は「誠意が知りたい。知りませんか」と問い詰められると「知りませんって言えないですよ。私の立場で。私としては努力しているんですけど、なかなか…」と言葉を濁していた。	
2019年9月26日	台風で倒壊のゴルフ練習場鉄柱、都 内業者が無償撤去へ、千葉・市原・ 経産ニュース	https://www.sankei.com/article/20190926-21QPT4E5QJkhlCGYJFQOC3G4RZ/	東京都江戸川区の解体業者「フジムラ」が26日、住民を対象に説明会を開き、無償で倒れた鉄柱を撤去する方針を示した。被害があった全ての世帯から同意を得た上で、作業を始めるとしている。 説明会には住人ら約40人が参加。フジムラは撤去を無償で請け負うことや、撤去作業には全体で約2か月かかることなどを説明した。	
2019年9月26日	ゴルフ練習場鉄柱の無償撤去説明会 で住民怒られる - 社会：日刊ス ポーツ	https://www.nikkansports.com/general/nikkan/news/20190926091105.html	一方で、次男夫婦の自宅が被害を受けた会社員の瀬尾泰一さん（65）は「今後の補償が何も決まっていなくて、簡単にサインはできない。納得できない」と憤った。「作業の際、住居がさらに壊れるようなことであっても、一切責任を負わないと書いてあった。損傷が浅い家はいいかもしれませんが、損傷が深い人にとっては取り返しがつかないことになる」と不信感を募らせた。さらに「業者は無償でやりますと言っていたが、夕暮ほど高いものはいい」とため息をついた。	
2019年9月27日	無償で撤去申し出業者「発行するつ もりは一切ない」 - 社会：日刊ス ポーツ	https://www.nikkansports.com/general/nikkan/news/201909270900735.html	担当者によると、同社は被害住民を助けたいと、台風が通過した翌10日には、練習場と市に支援を申し入れた。練習場とはすぐ連絡が取れず、市の担当に話したが、その後、連絡がなかったという。14日に「撤去業者が決まらない」というニュースを見て、再び市に連絡した。市の担当側の申しえがうまくいっていなかったとみられ、その後、すぐに練習場から「ぜひよろしくお願ひします」と連絡があったという。 担当者は今回の鉄柱撤去には、概算で約4000万円はかかるかとみている。 「フジムラ」関係者は26日の住民説明会で、撤去に対する同意書の提出期限を29日とし、全世帯が同意した場合、早ければ10月1日から撤去を始められると説明している。担当者は「早く撤去してほしい」との声も多かったが、可能な限り、最速の日程をお伝えした」とした上で「当然、全世帯の方から同意がなければ進められません。発行するつもりは一切ありません」と強調している。 また、一部で練習場が台風時にネットを降ろさなかったことを指摘されているが、担当者によると、ネットは固定された状態だったという。	
2019年10月12日	台風15号・千葉県「ゴルフ練習場」 鉄柱倒壊・補償めぐり被害住民 が分断 デイリー新潮	https://www.dailyshincho.jp/article/2019/11/30559?all=1&page=1	そんな被災地を再び襲ったのが、10月12日に上陸した台風19号だった。鉄柱の撤去が遅々として進まなかったことで、穴の開いた屋根からは豪雨が流れ込み、残された家財はほとんどダメになって、屋内にはカビが繁殖する「二次被害」が起きたのだ。 「住むべき鉄柱の撤去作業が始まったのは10月28日のこと。なぜこれほど時間が掛かったのかを探ると、そこには被害住民たちの避けられぬ分断があった」 「被害を受けた27棟のうち、撤去に同意して頂けたのは15、16棟だけでした」 と話すのは、撤去作業を担当大手解体業者フジムラの藤村直人社長（49）だ。 「住民の皆さんは、作業で再び家財が壊れたらどうなるかと不安を抱えていた。けれど同意書にサインを買えなければ始まらないので、撤去で生じた損傷はゴルフ練習場が掛け金を払う保険で対応することになり、納得してもらいました」 ちなみに、藤村社長の会社は、旧国立競技場の解体も請け負い、その技術は折り紙つき。今回はボランティアで作業を行っているという。 「会長である私の兄が報道で被害を知って、助けになればと市役所とゴルフ練習場に撤去を申し出たんですが、最初は盛ってもらえなかった。真意からとはいえ、4500万円ほどかかる作業は無償でやるなんて、私も同じ立場だったら信用できないでしょうから、作業自体は、大きな解体業者なら十分やれるもので、今月末には終わります」（同）	

2019年10月28日	鉄柱倒壊のゴルフ練習場、修復へ歩も補償進展せず・産経ニュース	https://www.sankei.com/article/20191028-FOXF2Y6BQJL83NZRJA38UB71D/A/	除去をめくっては、フジムラが無償で作業を行うことを申し出た。ただ、同社が提出を求めた同意書に除去作業中に住宅や車にさらなる損害が出るも賠償しないことが盛り込まれていたことに一部住民が反発。その後、同社が、ゴルフ練習場側が保険料を負担する形で損害を賠償する保険に加入する方針を示したため、関係する全27世帯の同意がそろい、今月15日から除去に向けた準備作業が進められていた。	
2019年11月13日	倒壊の鉄柱、除去完了 千葉・市原のゴルフ練習場・産経ニュース	https://www.sankei.com/article/20191113-FEGGKZ1STJ11J12AYAXXED60/	除去工事を請け負った解体会社によると、当初の計画では鉄柱を切断して除去する一方で12月中旬までかかる見通しだったが、切断せず鉄柱をそのまま持ち上げる方法に変更したため大幅に早く終わった。自宅が被害を受けた会社員松山高宏さん(55)は「予定より早く終わり本当にありがたい。今後は補償の話し合いを進めたい」と話した。	
2019年11月25日	土地売却し住居補償へ オナー会長「責任取る」市原ゴルフ場鉄柱倒壊 千葉日報オンライン	https://www.chibanippo.co.jp/news/national/646555	台風15号の強風で市原市五井のゴルフ練習場の鉄柱が倒壊し、住宅を押しつぶした問題で、渡辺陽子オーナーと秋野卓生代理人弁護士が24日、千葉市中央区のホテルで記者会見を開き、練習場の土地を売却し住民への補償費に充てる方針を明らかにした。渡辺さんは「収入もなくなるが、(土地売却が)一番責任を取る方法」と述べた。 秋野代理人によると、住宅再建にあたり住民の多くから「練習場が今後も残ると鉄柱倒壊の不安がある」との声があった。練習場側は当初、事業譲渡による資金捻出を検討。ただ、23日から始まった災害用の裁判外紛争解決手続(ADR)でも不安の声が湧き、要地にした上で土地売却を決めた。 鉄柱除去を無償で請け負った解体業「フジムラ」(東京都江戸川区)に練習場の解体を依頼。有償での工事を前日に早期着工の約束を取り付けたという。要地にした後、買い手を募り、価格の見通しが立った段階で補償可能額を住民に提示する。 また、渡辺オーナーは補償に関する方針の変更で事故当初の代理人弁護士を10月下旬に解任し、秋野弁護士を代理人としたとも明かした。秋野弁護士は熊本地震での補償対応の経験もあるといい、災害ADR利用を提案したという。	
2019年12月27日	「鉄柱」倒壊被害、補償問題メド立たず不安な年越し・社会：日刊スポーツ	https://www.nikkansports.com/general/nikkan/news/201912270900102.html	湯浅さんによると、22日に行われた第3回ADR説明会で、練習場が金融機関などに、少なくとも約1億5000万円の借入があること、練習場を売却するための解体費用などに1億円以上かかると知らされた。ADRの弁護士から「土地が売れたら、債務支払いが優先的に行われる」と伝えられた。 登記簿によると、土地は裁判所から仮差押え命令も出ている。湯浅さんは「練習場に多額の借入があることを初めて知った。補償のためではなく、借金返済の売却なのでは」と不信感をのぞかせた。「被害者への補償はいくらになるのか、相当かなくなるのでは。このままでは泣き寝入りになる」と肩を落とした。	
2020年2月17日	千葉・ゴルフ場の鉄柱倒壊で除去費者に表彰状 市原市・産経ニュース	https://www.sankei.com/article/20200217-GDDPWHKSNVNLUTLGER3GPGOVV94/	1月13日には倒れた13本の除去も終え、損壊した民家の壁紙などをブルーシートで覆う作業も行った。 その後、ゴルフ練習場の敷地を売却する作業も有償で引き受け、今年2月10日に倒れなかったものも含め、全ての鉄柱の除去を終えた。 表彰状を受け取った藤村会長は「表彰状をもらい、うれしい。住民からも感謝の言葉をもらったのもうれしかった。現場を経験した社員は、今後の災害現場で迅速に対応する自信がついたと思う」と話した。	
2020年3月23日	千葉のあれから ゴルフ練習場の鉄柱倒壊、全国から「加害者」「被害者」に分類され 現実とは(千葉日報オンライン)・Yahoo!ニュース 3/23(月)	https://news.yahoo.co.jp/article/d/4b6a90d6981ec53934a330fd33e6eb34df437	19年10月下旬、練習場は代理人弁護士を交代した。渡辺オーナーからその考えを「松山さんなら」と前もって伝えられた。練習場はその後、住民への補償に向けてADRでの和解と土地売却に着手した。 練習場は、弁護士交代に伴って住民への通知書を作成。松山さんは「オーナーから『一緒に配りに行きませんか』とお願いをされた。心細そうで、すがってきたと感じた」と快諾した。一軒軒手渡しして、借り上げ住宅の家庭にはポストに投函(とうかん)したことを連絡した。渡辺オーナーは補償について「望むことをしてくれないので弁護士を解任した」と説明していたという。	https://ameblo.jp/gedufutourmagmeko/entry-125843711774.html
2020年9月9日	【台風15号1年(下)】ゴルフ練習場倒壊 土地売却進まず補償額未確定・産経ニュース	https://www.sankei.com/article/20200909-7824Y7EJ18T7H5PHNERZTFWI4/	しかし、練習場の土地は跡地の境界が明確でないなどの問題が浮上して売却手続きが難航。被害住民への補償額はまだに決定していない。練習場の代理人弁護士は産経新聞の取材に「年内の土地売却に向けて手続きを進めており、売却が終了次第、被害者へ賠償を行う」と回答した。	
2020年9月9日	台風15号(2019年)千葉鉄柱倒壊現場 戻れたのは3世帯 NHK	https://www.nhk.or.jp/shutooken/w/20200909.html	住宅に被害を受けた男性 「自分はまだ住宅ローンが残っていたんです。ローンが残っていたら、保険金が出てもローンの支払いに足りないといけなかった。戻ったお金はほぼありません。家財などもなくなったものも多いので、基本的にマイナスです。また新しい住宅ローンを返すのも難しい。今は自治体の借り上げ住宅に住んでいるけれども、その支援が終われば今後どうなるか心配です」 ゴルフ練習場からの補償金が、いつ、いくら支払われるのかわからない状況で、今後の生活への不安を感じているという男性。仕事もいつまで続けられるかわからないという。住宅の再建、そして生活の立て直しのために、一刻も早い補償を望んでいます。	
2020年12月27日	市原鉄柱倒壊 ゴルフ場と住民和解 補償決着、額は公開せず 千葉日報オンライン	https://www.chibanippo.co.jp/news/national/752387	災害ADRでは「建物被害関係」(21人)、「車両被害関係」(8人)、「ネット被害関係」(7人)に分け、補償額に関する協議を行った。この日は、建物と車両の計29人中25人が五井公民館での協議に出席し、それぞれの補償額に同意。練習場側も応諾し災害ADRのあっせん人弁護士を交えて和解契約書を取り交わした。住民の松山高宏さん(56)は「被災から1年3カ月も長かったが、年内に終了してよかった」と述べた。松山さん宅は半壊で今年9月に修復を終えた。 欠席した住民4人も和解の合意を得ているほか、ネット被害の7人も和解しており、対象者計36人の補償問題は決着した。練習場の渡辺陽子オーナーは千葉日報社の取材に「住民が一大変だった。和解が成立してよかった」と話した。向席した代理人弁護士は、練習場の土地の一部を売却し補償費用に充てたことも明らかにした。	
2021年11月24日	2019年台風15号被害の象徴・市原ゴルフガーデン練習場は今? e!GoF(イーゴルフ) 総合ゴルフ情報サイト	https://esgf.jp/column/36258/	被害者の一人である松山高宏さんは「周りも新築の家が増えて、新しい住宅地にいるような、いい感じになってきました。業者もすでにオープンしましたし、ドラッグストアが開くと、もっとにぎやかになって、相乗効果で良くなっていくと思います」と、明るい見通しを話してくれました。 一方で、松山さんは市原ゴルフガーデンを利用していたゴルフファーマーの一人でもありました。 「練習場がなくなり、台風が来ても恐怖感もなくなって楽しみやすくなりました。でも私にとっては、歩いていける便利なゴルフ練習場だったことも確か。ネットの修理やペン半の塗り替えをしていたのも見ているし、渡辺さんが毎日、遅くまで(受付業務などを)やっていらしたのも知っている。だからこそ、(強風時に)ネットが下せるように改良していれば、まだ何年までできていただろうかと、とも思いますね」	